



生野銀山開坑1200年 記念イベント

つな 未来へ継ぐ、人と歴史・世界へ 山 び 銘 び

朝来市が生んだ名優

志村

たかし 喬

企画展・映画上映会

日本を代表する映画俳優

故・志村喬（1905〜1982）は、「世界のクロサワ」と言われた日本映画の巨匠黒澤明監督の作品に数多く出演し、「世界で最も知られた日本映画俳優」の一人として有名です。

出演した代表作には、ヴェネチア映画祭で金獅子賞を受賞した「羅生門」や銀獅子賞の「七人の侍」、ベルリン映画祭銀熊賞の「生きる」などがあります。生涯に出演した映画は400本を超え、昭和の銀幕を飾った名優です。

銀山社宅で生まれる

志村喬は、明治38年に朝来市生野町口銀谷で生まれました。父親が生野



「七人の侍」1954 ©東宝



「生きる」ロケ風景1952 ©東宝 黒澤明監督と

銀山に勤めており、精錬関係の責任者であったことから、銀山官舎として建てられた社宅に住み、志村喬もそこで少年期を過ごしました。

25歳の時に舞台俳優として活動を開始、昭和18年に映画「姿三四郎」の出演がきっかけで黒澤明監督と出会い、三船敏郎とともに黒澤映画に欠かせない俳優として活躍していきます。

昭和54年、神戸新聞に連載された自叙伝がきっかけとなり念願の帰郷が実現。懐かしい友人や恩師との再会を果たし、当時から現存していた生家なども訪れました。

その帰郷から9年後、再び故郷の地を踏むことなく、惜しまれながら76

歳の生涯を閉じました。初の企画展・映画上映会開催へ

今年、志村喬没後25年。この志村喬展は、全国初の企画展でもありません。黒澤映画を中心とした出演作品の紹介や、市との結びつきなどを紹介していきます。

映画上映会では、主演代表作の「酔どれ天使」（昭和23年）、「生きる」（昭和27年）の2本を上映。また、黒澤明監督とともに映画の記録係として活躍された野上照代氏と、志村喬と親交の深かった三船敏郎の長男・史郎氏を招き、志村喬の人生の軌跡を語っていただくトークショーも行われます。

志村 喬展

▽日時 8月12日(日)〜19日(日) 10時〜16時
▽場所 生野マインホール2階特設会場

志村 喬映画上映会

▽日時 「生きる」「酔どれ天使」 8月12日(日)10時

▽場所 生野マインホール トークショー

▽スペシャルゲスト 野上照代 三船史郎

▽場所 8月12日(日)13時〜14時

▽場所 生野マインホール(映画上映会・トークショーには入場整理券が必要です。)

▽問い合わせ先 生野支所地域振興課

☎679-5803

生野銀山開坑1200年事業

その他のイベント

生野銀山開坑1200年記念式典&シンポジウム
8月11日(土)／生野マインホール

インホール・ムーセ旧居・明延振興館他 復活・銀の工房展
8月〜9月／史跡生野銀山

生野夏物語
8月11日(土)〜15日(水)／生野町内

生野三巨匠絵画の特別公開
8月〜9月／メイン会場：但陽美術館・サブ会場：但陽会館

ふれあいテント村／11日(土)〜15日(水)
生野の盆踊り(奥銀谷地区)／13日(月)
生野の盆踊り(口銀谷地区)／14日(火)

森垣の灯笼流し(口銀谷・市川)／15日(水)

※8月11日(土)〜8月15日(水)の毎日(5日間) ※但陽会館(サブ会場) 休館日 8月11日、25日、26日、9月1日、9月8日

生野銀山生活文化展

8月〜9月／生野マ